

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年10月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672300078
法人名	医療法人 孝仁会
事業所名	グループホーム フレンドリーハウスのぎく
所在地	南さつま市笠沙町赤生木11372-397 (電話) 0993-63-1210
自己評価作成日	平成30年8月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年9月28日(金)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

散歩や地域行事への参加などの外出の機会を作り、地域の方と交流ができるよう心掛けている。個々に合った家事作業を毎日積極的に行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホーム敷地に菜園があり、四季の旬の野菜を献立に取り入れている。職員は、その日の食材を確認し献立を作り、差し入れの野菜を活用したり地元スーパーで利用者と一緒に買い物をしたり、能力に応じて料理の下ごしらえをお手伝いいただき食への興味や意欲を高めるなど自立支援に取り組んでいる。食事形態は、柔らかめの一口大で自力で摂取される方ばかりであるが、利用者と職員が食卓を囲み食事を楽しんでいる。花見の時期は、おにぎり弁当、おせちやクリスマスなどの行事食、また、誕生日は、お刺身を提供、地元の新鮮な魚料理も週2回食卓に上る。外食は、家族に協力をいただきながら個別で楽しんでいる。
- 利用者は、9人で共同生活を送っているが、全員が女性で78歳～96歳と高齢である。杖やシルバーカーなどで移動される方も多く、個々の身体能力に応じて、朝食後は居室や廊下をホーキで掃いたり、自室の片付けをされる方、野菜の皮むき、茶碗洗い、洗濯物干し、シーツたたみ、菜園野菜の収穫などを日課としている利用者もある。職員は、本人の自立を阻害することがないように見守り、コミュニケーションを図りながら信頼関係に努め本人らしい生活の実現に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着の意義を取り入れた理念を作成し、職員間で共有している。	理念は、玄関に掲示され来訪者が見やすいよう工夫されている。職員は、常に理念を意識し日々のケアに取り組んでいるが、振り返りの機会は少ない。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日の散歩や時にはドライブなど行い、入居者様が馴染みの所へ行くよう実施している。地域行事への参加もして、地域の方と交流している。	自治会に加入しており、日課の散歩がてら地域の方と挨拶を交わしたり、地域行事へ参加、地元のスーパーなどに買い物に出かけたりしている。また、小・中学校の入学式、卒業式へ招待され出かけたり、毎年、実習生を受け入れ、夏祭りにはちぎり絵など作品を出展し見学に行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	散歩や買物、地域行事への参加により地域の方に対しての認知症への理解を図っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に一回開催し、その場にて施設の取り組み等説明し、意見交換をしている。	管理者は、サービスの実施状況等をすべての家族が認識し共通理解を図り、ともに会議の中で話し合いに参加してもらい、運営についても忌憚のない意見をいただきたいと考えているため、今後、家族が会議に参加しやすいよう検討している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を通して、今後取り組んで欲しい事などを、取り組んでいる事を伝え協力関係を築いている	市職員とは、電話や面談などで相談や助言などをもらっており、職員向け研修会の案内も多く、積極的に参加したり相互の協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間以外の施錠は一切行っておらず、自由に外へ出られるようにしている。身体拘束委員会もあり、身体拘束者はいない。	身体拘束指針があり、定期的な研修会の実施や職員会議などで個別カンファレンスを行い、安易にセンサー利用などせず介護方法を検討して自由に暮らしてもらえよう取り組んでいる。特に、言葉による拘束や心身に与える影響を検討し身体拘束をしないケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議を通して学び、注意し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議や職員会議を通じて話し合い、個々で必要な場合活用できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様やご家族の皆様には不安な事や疑問に思われていることをその都度尋ねながら充分に説明を行い、理解を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族の方々には面会時など日頃から会話を通して意見や要望など聞くように取り組んでいる。第三者窓口もあり、そちらでも意見等伝えられることを説明している。	日頃の面会時に加え、運動会や夏祭りは家族の参加が見込めるため意見や要望などを聞き取るようにしている。今後は、運営推進会議へ家族の参加を促し意見交換して、より一層利用者や家族の意見を反映したサービスの実践ができるよう検討している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見や要望があった場合、職員会議や個別に話し合う機会を設け、運営に反映させている。また、定期的に親睦会も開き意見交換している。	管理者は、職員が公休を取りやすく無理のない勤務に配慮したり、忌憚なく意見や提案が出しやすいよう努めている。職員の育成や後継者への指導などが急務であると考えおり、働きやすい職場環境についても力を入れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の話を聞いて下さり職場環境や条件の整備を行って下さっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修はあるものの法人外研修はまだ少なく、できる限り研修へ参加できるよう取組んでいく。働きながら技術向上を重視している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	隣接の老健や関連施設の特養との交流はあり、意見交換や訪問している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人との信頼関係が築けるようお話を聞き、要望など受け入れている。その方に寄り添い安心して過ごしていただけるよう心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族との時間を設け、ゆっくりお話しをする機会を設けている。ご家族の想いを聞き信頼関係を築いていけるように取り組んでいる		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族との会話の中で希望やニーズを引き出すよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様のペースに合わせた作業を行っていただいている。できないときはさりげなくフォローするといった形で行う。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の思いやご家族の想いを理解した上で、ご家族に報告、相談をし、ご家族の協力を得て信頼関係作りをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買物やドライブなど馴染みの所へ行けるよう支援している。	職員は、親戚や近所の方が面会に来られた時にゆっくりと歓談ができるよう配慮したり、外来リハビリでの地域交流に配慮している。また、墓参り、買い物、ドライブなどを通じてこれまで大切にしてきた習慣や関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お茶や散歩、家事作業を通して利用者同士が関わり合えるよう支援に努める。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後もご本人や、ご家族から相談等あった場合支援できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の会話の中でご本人の思いの把握に努めている。会話の難しい方に対してもご家族の協力を得ながら検討している。	意志表出の困難な方などは、家族や職員と情報を共有して本人の思いを汲み取り、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始前、開始後ご家族や居宅支援事業所などから情報提供していただき、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日誌や支援経過記録などを活用し、一人ひとりのできること、苦手なことの把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族やご本人職員の意見を反映した介護計画を立てている。	ケア会議にて、個別のカンファレンスを行い、本人の思いを汲み取ったり、本人の希望や役割、生きがいを明確にして目標を設定し、介護計画書に反映させ家族に説明し理解していただいている。毎月のモニタリングを踏まえ、見直しなどは柔軟におこない、現状に即した介護計画書である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録を作成し毎日記録している。皆が見られる所に置き情報共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時に生まれるニーズに対してはすぐに対応しているが出来ない時には後日必ず対応するようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ドライブなどを通じて個々に合った支援に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	納得の得られたかかりつけ医に月2回の往診を受けている。緊急時もすぐに対応していただける体制を取っている。	隔週、母体体医療機関から主治医が往診している。また、隣接の老人保健施設の看護師が毎朝、健康管理のためバイタルチェックしたり、緊急時はオンコール体制があり適切な医療が受けられている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様に変化が見られた場合はかかりつけ医や隣接施設の看護職員に相談できる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病院関係者との情報交換を行い利用者様やご家族の方々が安心できるよう支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人やご家族とは今後のこともふまえ事業者でできるとを十分に説明しそのうえで要望を確認し支援している。	管理者が契約時と重度化した場合に、段階に応じて、口頭で説明している。これまでに看取りの経験はあるが、看取りに関しては、主治医の判断や家族、事業所の事情も考慮して取り組んできた。また、重度化や終末期に向けた指針や方針について明文化されていないため今後、検討する予定である。	重度化や終末期に向けた方針を共有することは、体調の変化に応じ、事業所の対応力が求められることを常に意識して、事業所の力量を把握し、現状でどこまで支援できるかを見極めること、また、早い段階から本人、家族などと話し合い、主治医の意見や関係機関との連携を図りながらチーム支援していくことが重要である。指針を定めるなど明文化されることに期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	避難訓練時、消防署立会いの下、救急訓練を行ったり、職員会議時話し合ったりしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防立会いの下、定期的に避難訓練を行なっている。また、災害時の協力要請は地域の責任者をお願いはしているものの避難訓練は行われていない。	河川や海岸から近いため、津波や水害の脅威があり、隣接施設は地域の方の避難場所に指定されている。避難訓練は年2回実施されているが、地域との協力体制は薄いため今後の課題である。備蓄は、法人で一括管理されている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員一人ひとりが言葉遣いには気を付けており、利用者様に合った声掛けを行なっている。勉強会も行っている。	月1回、ケア会議にて研修を実施し、不適切な言葉使いや失礼のない対応など確認してその都度職員同士で注意するよう取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いや要望を聞き出せるような関わり方ができるよう心掛けており、その思いを尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様に合わせ、ご本人の希望に沿った生活を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日の身だしなみはもちろん、外出時もその人らしい格好ができるよう支援している・。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下処理などの準備から始まり、一緒に食事をいただき、片付けも無理のない範囲で行っている。一緒にすることで食事の好みなど聞き出している。	献立は、食材を確認し職員が作成し、菜園の野菜を活用したり、地元の食材を活用する。誕生日は、刺身、週2回は魚料理、おせちなどの行事食、花見はおにぎり弁当を楽しんでいる。また、家族と外食を楽しまれる方もおられる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量チェック表や水分摂取のチェック表を作成しケアに活かしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアの声掛けを行っている。過介助にならないようできる限りご自身で行っていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の失敗を減らすために個々に合った声掛け、支援を行っている。過介助にならないよう排泄動作も自分でするよう心掛けている。	ポータブルトイレを夜間のみ使用される方もいるが、ほとんどの方がトイレで排泄される。布下着だけの方やリハビリパンツから改善された方がおられる。排泄の声かけは利用者ごとに工夫し、排泄動作を見守るなど自立支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には水分の調整や便秘に良い食べ物などを提供している。それでも改善されない時は主治医に報告、相談している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日等の指定はしていない。拒否などのあった場合は無理はせず、臨機応変に対応している。	入浴は、本人の希望や必要性に応じて支援しているが、午後から入浴支援することが多い。浴槽への出入安全確保のため手すりが設置しており、本人のタイミングで入浴していただくなど柔軟に取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースに合わせ、昼休憩の調節や散歩などの活動量を増やしたりするなど、夜間良眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師からいただくお薬の説明書を読み把握するよう努めている。症状に変化があった場合は主治医に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合った家事作業を行っており、役割分担ができています。ドライブなどの気分転換も実施している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩は毎日行っている。時にはドライブも行い馴染みのところに行けるよう支援している。ご家族と一緒に外出される場合も多い。	毎日の散歩、買い物外出、年間行事計画にて、地元の祭り見物、初詣、四季折々の花見見物、美術館見学、小学校の運動会、入学式、卒業式への参加があるなど、本人が行きたい所や家族との外出が楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様によってはご自身で財布を持っていらっしゃる。そのお金を使用することは殆どないが希望があれば対応していく体制をとっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望があれば支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が安心して生活できるような空間を作っている。家庭的な雰囲気ができるようお花を飾ったり、香り等にも配慮している。	対面式キッチンがあり、テーブルを使って野菜の下ごしらえやシーツたたみ、ボール遊び、ぬり絵などのレクを楽しんでいる。食堂兼リビングからウッドデッキに出て洗濯物を干したり、菜園で野菜を収穫するなど穏やかな生活風景が感じられ、ソファで過ごされる方、笑い声がこぼれる家庭的な雰囲気の共用スペースである。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の中にはソファも設置しており、気が合う人同士お話しされる姿がある。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご家族やご本人へ説明し使い慣れた食器や箸を持って来て頂くようお願いしている。また、居室には好きな本などの持ち込みもある。	備え付けのクローゼットに、使いやすく収納がされており、家族写真やアルバム、ぬいぐるみなどの馴染みの物を持ち込み、読書好き、花好きの方がおられるが机や椅子が設置され本人が居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	屋内には手すりや名前プレートの設置を行っている。それをご覧になり、自信で確認しながら行動する利用者様も多い。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない